

# オッサン ショウオが行く

## あおと あきひこ 青戸 晶彦教育長

### プロフィール

大学卒業後、昭和52年日南中学校講師として教職員となる。昭和55年に石見東小学校教諭として採用後、町内各地の小学校に勤務。日野上小学校の教頭、阿毘縁小学校・日野上小学校校長、そして平成21年には日南小学校統合後の初代校長を歴任し、平成26年3月に退職。退職後は教育委員会にて家庭教育推進員、町史編さん専門員、社会教育推進員として7年間日南町の教育を支える。令和3年4月1日より現職に至る。



### 今後の日南町の教育について

子どもたちには、日南の大空に大きな夢を描き、果敢に挑戦してもらいたいです。本当はできるのに自信がないからやらない、といった子も多い気がします。できる力は十分にもっています。自信をもって取り組むことができるような環境にしていきたいと思います。そして、生涯にわたって日南町に貢献する人になってもらいたいです。



### 日南町教育長に就任した お気持ちは

日南町にとって教育改革という節目の年です。教育の在り方検討会の答申に沿って①コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設立、②地域学校協働活動の促進、③保小中一貫教育の促進、④保育園を認定こども園に、⑤日南学の推進の5つのことを実行していきたいと思っています。



### 長らく日南町の教育を支えて こられました、教師を目指 したきっかけは

小中学校時代の恩師の影響が大きいです。卒業後に気軽に教え子から話しかけてもらえるような教員を目指しました。

教え子が、卒業後に会ったときに、近況を伝えてくれたり、小学校時代の話をしてくれたりして、話を聞くのは教師冥利に尽きます。教え子が教師となり一緒に働いたことは、とても印象に残る出来事のひとつです。



### コミュニティ・スクールについて

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）については名前からして難しく想像がつきにくいのではと思いますが、『町民の皆さんにご意見をいただき学校を運営していこう』という風に捉えていただければと思います。日南町に八つの小学校があった頃は、地域の方々と協力をしながら教育を行っていました。学校は校長が変わると教育方針も変わったりします。そのことについては良い面もあれば悪い面もあると思っています。コミュニティ・スクールが設立されると、校長や教員が変わっても地域として大切にしてきたことを継続していくことができます。このことが一番のメリットだと思います。



### 最後に

0歳の子どもから高齢者までが、学びつづけることができる環境にしていきたいです。「日南町で学んでよかった。」「日南町に行って学んでみたい。」そんな教育の町にしていきたいと考えています。

私も今まで町内各地の学校で勤務し、沢山の方に育ててもらった恩返しとなるよう頑張ります。

